

私たちの地球は、豊かな包容力でさまざまな生物を育み、また人類の広範かつ活発な活動を支えてきてくれました。しかし近年の限界を超えた人類の活動は、地球の持つ包容力を傷め、他の生物との共存はおろか、私たち人類の存続さえも危うくしています。将来の世代に生き生きとした豊かな地球を受け渡すために、私たちは、それぞれの活動をできる限り環境負荷の少ないものに変えていかななくてはなりません。そのためには、国・企業・市民団体・個人などすべての地球市民が、自らの活動が環境に与えている負荷を知り、積極的にその削減に努めていく必要があります。そして、お互いが示唆しあい、協力しあうことも、環境保全活動の効果を高めるためには重要です。

私たちリコーグループは、地球市民の一員として、かけがえのない地球を守ることを企業使命と考え、環境保全を経営の重要な柱の一つに据えています。具体的には、お客様にご使用いただく製品をより環境負荷の少ないものにしていくとともに、開発・生産・販売・サービス・製品回収・リサイクルなどすべての企業活動における環境負荷をより削減していきます。

21世紀に、社会から存続を望まれるためには、優れた環境性だけでなく、経済性、社会性を備えた企業であることが条件になります。私たちは、たんに規制などに対応してきた「環境対応」の時代から、地球環境保全のために自発的に高い目標に向かって活動する「環境保全」の時代を超えて、それらの活動をより継続的に進めるために、同時に経済価値を増大させる「環境経営」の実現を目指しています。また、社会全体の環境負荷を低減するために世の中に積極的に働きかけていくことや、地域や市民団体と一体化した環境社会貢献活動、そして私たちの環境活動が適切なものであるかどうかをご判断いただけるよう皆様に十分な情報開示を行うことも大切だと考えています。これらの活動を通して、私たちは、環境保全および人類社会の存続に不可欠である、循環型社会の実現に貢献していきます。

この2000年版報告書には、リコーグループの1999年度における環境活動の内容と成果をまとめています。リコーグループの環境活動を一人でも多くの方にご理解いただき、また、今後の活動の質と効果を高めていくためにも、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

株式会社リコー
代表取締役社長

桜井正光

